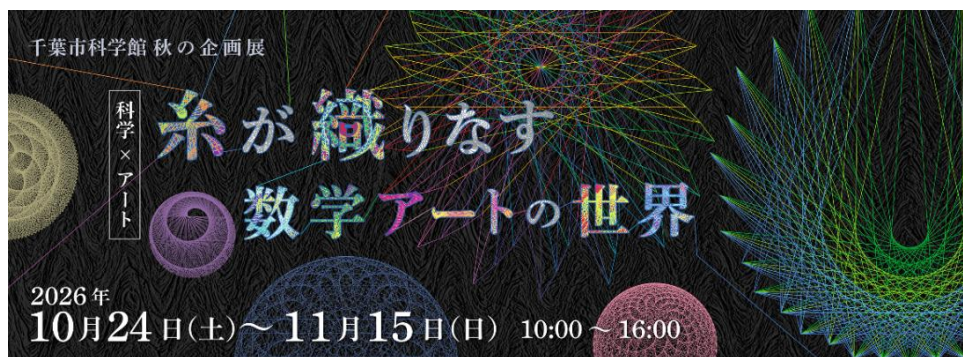




「糸かけ」とは、一定の法則に従って順番に釘に糸をかけていき、幾何学模様を作るアートの一種です。循環かけ、リズムかけ、テセレーションなど、かけ方にもさまざまな種類があり、出来上がる模様も個性的です。芸術の秋に相応しい、科学館ならではのアートの世界をお楽しみください。

タイトル: 秋の企画展 「糸が織りなす 数学アートの世界」

会 期: 2026年10月24日(土)～11月15日(日) ※会期中無休

時 間: 10:00～16:00

会 場: 千葉市科学館 7階企画展示室

料 金: 無料(要入館料/常設展示・プラネタリウム)

主 催: 千葉市科学館

監 修: 岡田晃次(糸かけデザイン研究所)

展示構成

科学×アート、両方の性質をもつ「糸かけ」個性豊かな美しい作品を展示します

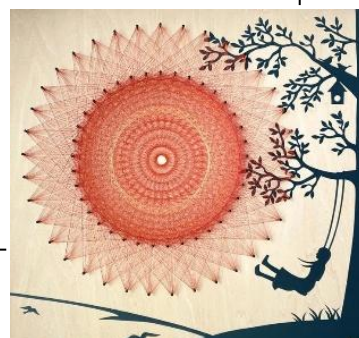
科学的な視点からの解説も併せてご覧ください

～展示の一部紹介～

◆糸かけからサイエンスへ

ルーローの三角形、フィボナッチ数列、オロイド……

直線から曲線を生み出す作品を、立体的なものも交えて展示します



↑糸かけ師 虹花作



↓糸かけ師 木蓮作

↓糸かけ師 三輪作



関連イベント、講座 / ワークショップ

◆常設ワークショップ

ゴムを使った糸かけ体験など、気軽に体験できるワークショップを開催します

◆関連イベント

【みんなで作る糸かけアート】

来場者が少しずつ糸をかけて、ひとつの大きな糸かけ作品を完成させます (開催日: 10月25日(日))

【糸かけアートに挑戦!】

釘打ちから糸かけまで一連の体験を通して、数と形の関係に迫ります (開催日: 11月3日(火・祝)、7日(土))

取材・掲載に関するお問い合わせ

千葉市科学館 広報担当 TEL: 043-308-0511(代表) Mail: press@kagakukanQ.com